

資本・業務提携ならびに医療被ばく線量管理ソリューション MINCADI のサービス開始

2019年4月11日

株式会社 A-Line

株式会社 NOBORI

株式会社 A-Line（本社 大阪府大阪市、代表取締役社長 田伏 誠、以下 A-Line）と株式会社 NOBORI（本社 東京都港区、代表取締役社長 依田 佳久、以下 NOBORI）は、資本・業務提携を行うことに合意しました。本提携に基づき A-Line が開発、提供するクラウド型の線量管理ソリューション MINCADI を NOBORI が提供する医療クラウドシステム「NOBORI」の新たな PAL サービスとして提供開始します。

MINCADI は、医療画像や CT など画像検査装置より得られる情報を自動的に取得し、患者毎の医療被ばく線量、検査毎の撮影条件をクラウド上で管理、最適化するためのソリューションです。“Aline-ment（アライメント）”と呼ばれる A-Line が保有する特許技術により、施設毎に異なる検査名/プロトコルを統合することで、DRLs2015（診断参考レベル）との比較だけでなく、他施設との線量比較を実現しました。他施設比較時の条件を設定することで、自施設が所有する検査装置と同じ機種に限定した線量比較や検査条件を参照することが可能となっています。これら機能により、MINCADI では、より客観的な線量評価を可能とし、検査条件の見直しを簡便にすることで、放射線部門の医療被ばくの適正化を支援いたします。

医療分野における線量管理は、2018 年度の診療報酬改定の際に、一部の施設を対象とした施設基準として保険収載されました。また、2020 年 4 月 1 日より X 線 CT 診断装置、循環器用 X 線透視診断装置、PET/CT 装置、SPECT/CT 装置および診療用放射性同位元素を対象に、線量の記録および最適化を目指した管理が義務化されます。（医療法施行規則の一部改正：2019 年 3 月 11 日付官報より）MINCADI は、2020 年の義務化への対応、保険収載の施設条件にも対応しています。

今回、NOBORI PAL サービスに MINCADI が加わることで、管理対象となる装置を保有する NOBORI ユーザーにおいては、新たなサーバ機器の設置、機器接続、初期費用はなく、月額利用料のみで簡単に線量管理サービスをご利用いただくことができますようになります。今回の資本・業務提携を通じて、A-Line との連携を一層強化しながら、NOBORI ユーザーでの MINCADI 利用を促進し、MINCADI の特長である全国的な統計データベースの充実を目指すとともに、医療機関における放射線画像診断ならびに被験者の医療被ばくの適性化に貢献できるように努めてまいります。



株式会社 A-Line について

株式会社 A-Line は、社名に“動脈”と“緊密に協力させる”の2つの意味を込めました。当社では、クラウドを用いたソリューションにより、医療機関を太い“動脈”で繋ぐことで、“緊密な協力(情報共有)”を促し、医療機関や患者様にとって、より良い画像診断の実現を支援します。

株式会社 A-Line の詳細情報は <https://alinejapan.com/> をご覧ください。

株式会社 NOBORI について

株式会社 NOBORI は、大切な医療情報をクラウド環境に安全に保管・共有・活用し、社会の集合知へと高めるための IT クラウドサービスを提供しています。当社は、高品質な医療サービス提供者と、地域の生活者一人ひとりの間に新しい絆を育み、皆様の健康な暮らしをサポートしていきます。

株式会社 NOBORI の詳細情報は <http://www.nobori.in/> をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社 A-Line (URL: <https://alinejapan.com/>)

営業本部 大阪市淀川区西中島 7-1-29 新大阪 SONE ビル 701 電話 06-6195-3266

株式会社 NOBORI (URL: <http://www.nobori.in/>)

社長室 東京都港区三田 3-11-24 電話 03-4405-7834